

もくじ

Web ページ制作の流れ.....	2	ボーダー.....	24
Web サイトを作るための準備について...エラー! ブックマークが定義されていません。		CSS でページをデザインする	26
HTML とは.....	5	html を確認する.....	26
HTML とは.....	5	デフォルトスタイルシートについて.....	27
要素 (elements) とタグ (tags)	6	index.html に CSS ファイルを指定する。	28
要素記述時の注意点.....	6	カスケードについて.....	29
属性 (Attributes) の追加.....	7	背景を設定する.....	31
HTML の記述の練習.....	8	書体を変えてみる.....	32
ファイル情報.....	9	行間を設定する.....	33
バージョンごとのファイル情報サンプル.....	10	見出し 2 のスタイルを設定する.....	34
CSS の基礎知識.....	11	padding を設定する.....	34
CSS ファイルの作成と保存.....	12	他の HTML ファイルにも jagra.css を設定する	35
CSS の記述のルール.....	12	見出し 3 のスタイルを設定する.....	36
CSS の基本.....	13	アドレスタグのスタイルを設定する.....	37
html ファイル に CSS ファイルを指定する... 13		ナビゲーションのスタイルを設定する.....	38
CSS ファイル作成.....	14	リンクの設定.....	39
テキスト (文字) の大きさを変える.....	14	擬似リンクの設定.....	41
テキストの色を変える.....	15	子孫セクタ.....	42
単位と色について.....	16	注釈用のスタイルを設定する.....	43
HTML と CSS の考え方.....	18	class セクタ.....	43
背景色を変えてみる.....	18	写真を回り込みさせる.....	44
背景画像をいれてみる.....	20	回り込み解除.....	45
背景画像の繰り返し.....	21	補足資料.....	46
背景画像の配置指定.....	23	テキストエディタ.....	46
		XHTML デフォルトスタイルシート (Firefox)	48

Web ページ制作の流れ

Web ページの制作過程はその規模や性質により異なりますが、一般的に以下のような流れで制作します。

目的やテーマを決める

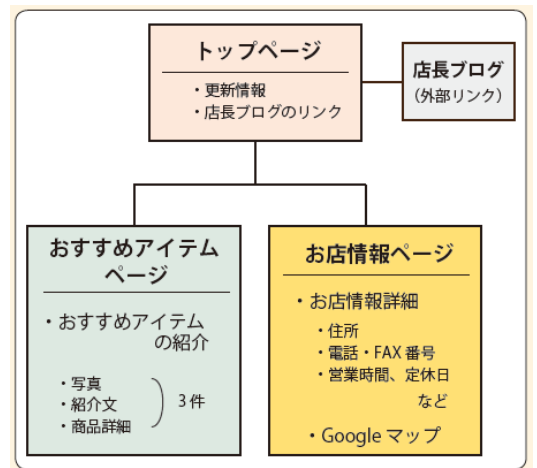
Web サイトを通じてどんなことをどんな人に伝えたいのか、Web サイトを見てもらうことでどのような効果を得たいのか、といった目的やテーマを考えます。例えば「自社の商品を PR し売り上げを伸ばしたい」や、「自分の作品を広くいろんな人たちに見てもらい意見を交換したい」などといった目的を明確にすることで Web サイトの方向性が決まってきます。

掲載する内容を決める

テーマにもとづいて Web ページに掲載する内容を決めます。ショッピングの Web ページを例にとると、販売したい商品の写真や紹介文、価格、実店舗の地図などが掲載内容として考えられます。ここではどのような内容をどれくらい掲載するかを決定します。掲載したい内容がどれくらいあるかで作成する Web ページの数も変わるので、掲載したいものをピックアップし整理・分類することも重要です。

Web ページを組み立てる

掲載する内容が決まったら、それぞれの情報にユーザを導く導線を考えます。そのためには本の目次に該当するような項目を Web サイトの入り口であるトップページに配置し、そこからいろいろな Web ページに移動できるような仕組みを作らなければなりません。ここではユーザを目的の情報に誘導するために、どのように Web ページを配置し関連付けていくかを考えながら Web サイトの組み立てを行います。各ページの関連性を確認しながら Web サイトを組み立てるにはサイトマップとよばれる Web サイトの設計図を作成すると便利です。サイトマップがあれば Web サイトの全体像や Web ページどうしの関連付けも確認しやすくなります。

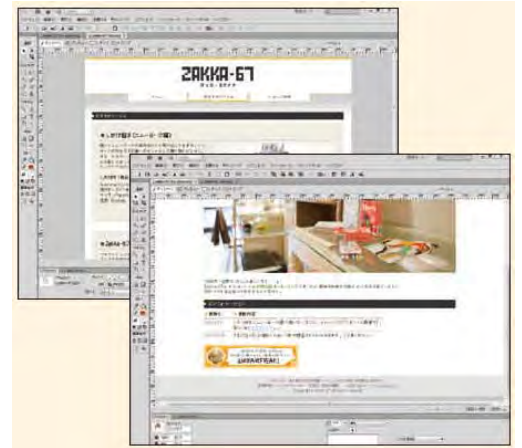


原稿や写真を準備する

Web ページに掲載する素材を準備します。商品の紹介文などの文章を掲載するには、あらかじめテキスト形式のデータとして用意しておきます。商品の写真や会社のロゴマークといった画像は Web ページのデザインに合わせてサイズや色の補正といった編集作業をするため、ここでは必要な画像に不備がないかどうかを確認し準備します。

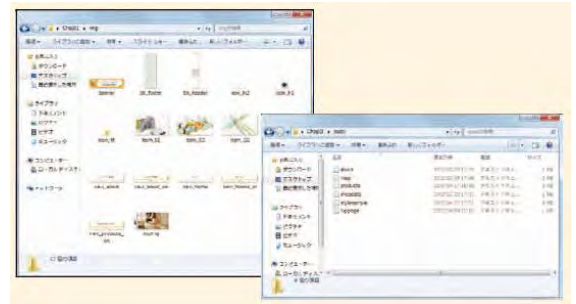
デザイン案を考える

掲載する内容と素材が揃ったら、Web ページのデザイン案を考えます。デザインは Web サイトの目的やテーマに応じたものにします。各ページに共通したデザインを適用することで Web サイト全体に統一感が生まれます。大切なことは Web サイトを閲覧するユーザにとって必要な情報が見つけやすい、利用しやすいデザインであることが重要です。



サイトフォルダーを用意する

サイトマップやデザイン案を元に、Web ページに掲載するための文字原稿や、デザインに合わせて大きさや色を調整したロゴや写真、ボタンなどの画像を準備しておきます。それらを「サイト」フォルダーにまとめます。そのとき、画像ファイルは [img] フォルダなどにまとめておくとファイルを探しやすく、また管理も容易になります。



HTML・CSS ファイルを作成する

デザイン案が決まったら HTML を使って Web ページのもとになる HTML ファイルを作成します。HTML ファイルには文字列や画像といった要素のみを記述し、文字のサイズや色といったデザインに関する設定は HTML ファイルには記述しません。一般的に HTML ファイルには Web ページに記載したい内容のみを記述し、見た目に関する定義はスタイルシート言語を使って HTML ファイルとは異なる別の CSS ファイルに記述します。

ブラウザで確認する

Web ページを表示するソフトウェアを総称してブラウザとよびます。HTML ファイルは文字や記号が並んだだけのテキストファイルなので、そのままではインターネット上でどのように表示されるかがわかりません。そこで HTML や CSS ファイルを作成するときはブラウザを使って表示を確認しながら編集作業を行います。ここでは HTML や CSS ファイルが完成したときの最終確認として、記述内容に間違いがないか、記述した要素が正しく表示されているか、CSS ファイルに記述したデザインが正しく反映されているかなど最終的なチェックをします。確認に使用するブラウザは 1 種類だけでなく Windows、Mac ごとに複数のブラウザで表示を確認したほうがよいでしょう。